



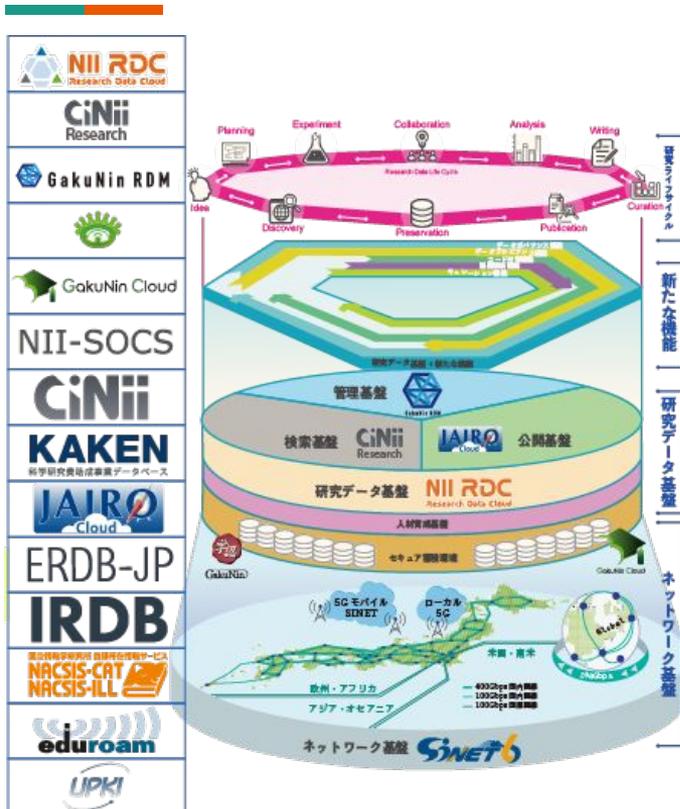
学術研究プラットフォームと 大学図書館

大向 一輝

東京大学大学院人文社会系研究科
これからの学術情報システム構築検討委員会



プラットフォーム？



CiNii 論文・データをさがす 大学図書館の本をさがす 日本の博士論文をさがす ログイン English

図書・雑誌検索 著者検索 内容検索

フリーワード 検索

すべての資料 図書 雑誌 詳細検索

The four : GAFA : 四騎士が創り変えた世界

Galloway, Scott 渡会, 圭子
ワタライ, ケイコ

書誌事項

The four : GAFA : 四騎士が創り変えた世界
スコット・ギャロウェイ著；渡会圭子訳
東洋経済新報社, 2018.8

タイトル別名 The four
The four GAFA
GAFA (ガーフア) the four : 四騎士が創り変えた世界
The four : GAFA (ガーフア)
GAFA the four

タイトル読み The four : GAFA : ヨンキン ガツクリカエタ セカイ

大学図書館所蔵 365件 / 全365件

すべての地域 すべての図書館 OPACリンクあり

愛知教育大学 附属図書館 図
007.3||G17 19001.386 OPAC

愛知県立大学 長久手キャンパス図書館
007.35/G17 205531.245 OPAC

国立情報学研究所 オープンハウス
2022 総研大情報学専攻 入試説明会
2022.6.4 SAT 16:00-17:00
参加無料！ハイブリッド開催！
ツイート 0 いいね！

the four
GAFA
四騎士が創り変えた世界
Google, Apple, Facebook, Microsoft
激変を予言した10年 次世代のルール
著者: ヨンキン・ガツクリカエタ
Google Books

CiNii 図書 - The four : GAFA : 四騎士が創り変えた世界

<https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB2651872X>

国立情報学研究所学術基盤オープンフォーラム 2022ウェブサイトより引用

<https://www.nii.ac.jp/openforum/2022/>

プラットフォーム？



"Paris, Gare de Lyon, TGV" by David Monniaux (Licensed under [CC BY-SA 3.0](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/))
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Paris_Gare_de_Lyon_dsc03797.jpg



映画「プラットフォーム」公式サイトより引用
<http://klockworx-v.com/platform/>

プラットフォームを考える

- 手段の共通性
 - 同じルール・技術による効率化
- 目的の固有性
 - 行き先はそれぞれ
 - 単一のサービスでは賄え得ない
- 大学図書館にとってのプラットフォーム
 - 利用者として
 - 複数のサービスをどのように使いこなすか
 - 足りないものをどう補完するか
 - 最適なバランスを追求する
 - 提供者として
 - 大学・研究機関構成員にとって図書館は情報プラットフォームそのもの
 - 何が期待されているのか、どう応えるのか

これから委員会

学術情報システムの
ビジョン設定

目録と電子リソースへの具
体的な取り組み

検討体制の概要



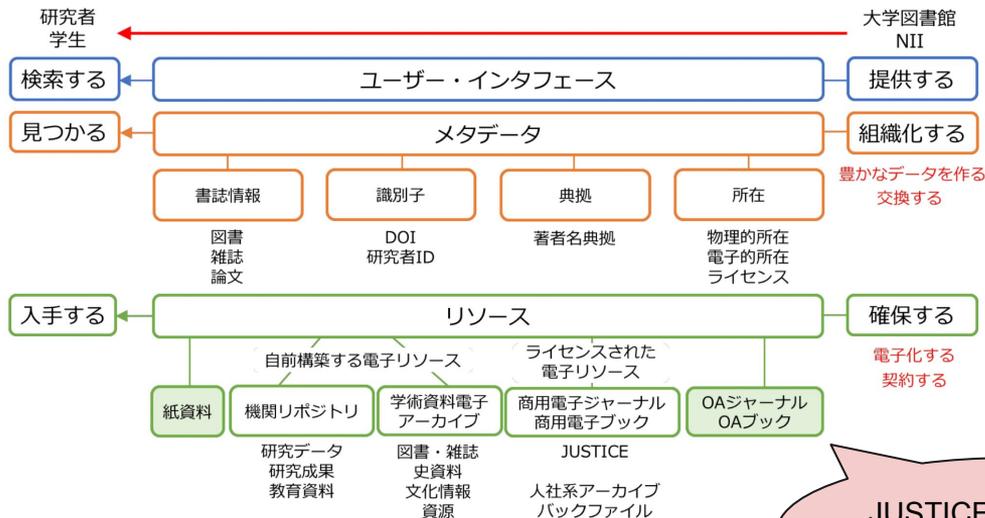
これから委員会における検討の経緯

委員会	電子リソース	目録システム
2012 委員会設置	ERDBプロトタイプ構築プロジェクト (-2013)	
2014	電子リソースデータ共有WG	
2015 「これからの学術情報システムの在り方について」	電子リソースデータ共有作業部会 設置 ERDB-JP公開	NACSIS-CAT検討作業部会 設置 「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について (基本方針案の要点)」
2016	「電子リソース管理システムの利用可能性の検証について (平成28年度最終報告)」	「基本方針」 「実施方針」
2017 これからの学術情報システムに関する意見交換会2017	「電子リソース管理システムの利用可能性の検証について (2017年度最終報告)」	
2018 「これからの学術情報システムの在り方について (2019)」	「電子リソース業務の管理基盤・ワークフロー構築についての検討 (2018年度報告)」他	「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について (最終まとめ)」 (→CAT2020)
2019 作業部会の再編	<ul style="list-style-type: none"> システムモデル検討作業部会 システムワークフロー検討作業部会 	
2020		CAT2020開始 (8/3)
2021	「大学図書館向け学術情報システムを36年ぶりに一新」	

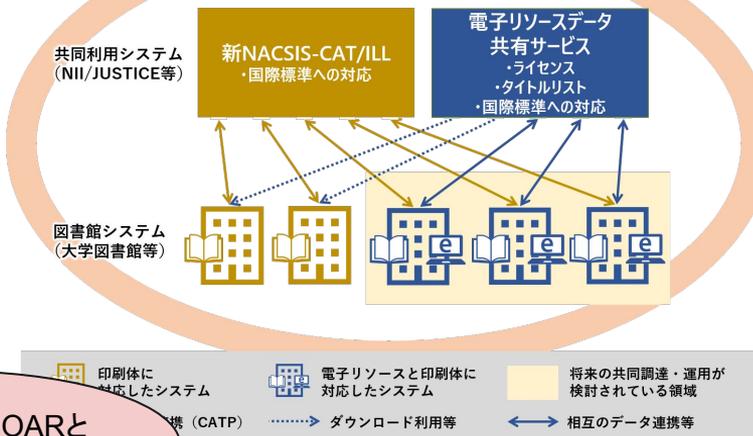
「これから委員会のゴール：2022年を目指して」小山憲司 ([CC BY-ND 4.0](https://creativecommons.org/licenses/by-nd/4.0/))
(国立情報学研究所学術情報基盤オープンフォーラム 2021)
https://www.nii.ac.jp/openforum/2021/day3_cont2.html

これから委員会の10年

概念から実装へ



図書館システム・ネットワーク (大学等)



JUSTICE・JPCOARと
の役割分担

「つながる目録、つながるサービス」大向一輝
 (平成27年度大学図書館シンポジウム「2020年のNACSIS-CAT/ILLを考える」)
https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2021-02/lf_ohmukai_20151112.pdf

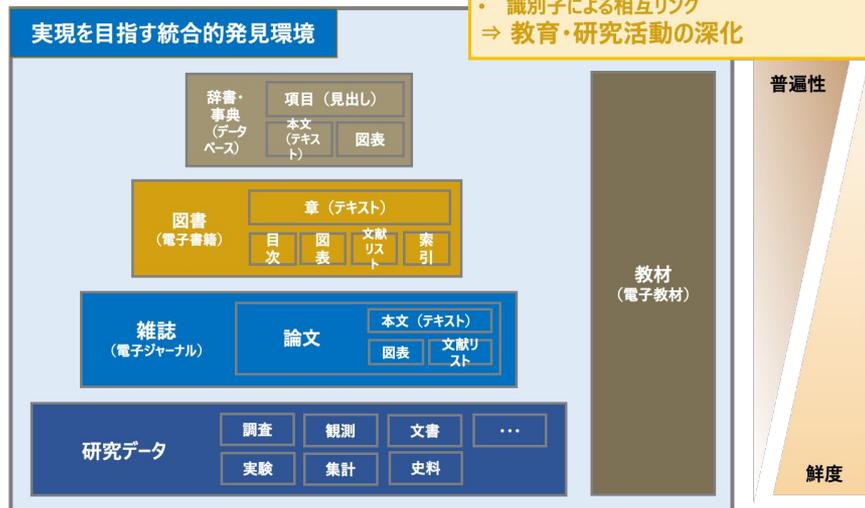
図書館システム・ネットワーク (2021)
<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw>

これから委員会のこれから

- 内外の変化を観測し、次のアクションを明確化する
 - アクセス性・相互運用性の向上
 - データモデル
 - 標準化
 - 要求の拡大
 - オープンサイエンス
 - デジタルアーカイブ
 - 利用者の期待



- ・ 多様な学術コンテンツを包含
 - ・ マイクロコンテンツ (章・図表 等) への対応
 - ・ 識別子による相互リンク
- ⇒ 教育・研究活動の深化



フォーラムのテーマ

- プラットフォームとしての大学図書館のあり方を明確化する
 - データのネットワーク
 - 「これからの学術情報システムのメタデータ収集・作成方針(案)について」の検討と策定(飯野さん)
 - 日本目録規則2018年版の新NACSIS-CAT/ILLへの適用(木下さん)
 - 情報システムのネットワーク
 - 「共同利用システム」と「新NACSIS-CAT/ILL」(村上さん)
 - 「電子リソースデータ共有サービス」ご紹介(三村さん)
 - 人のネットワーク
 - 参加型でつくる大学図書館システム・ネットワーク(粟屋さん)
- 利用者と向き合う専門職のつながりをつくる